

クラス番号	609	担当教員名	添田 正揮
テーマ	外国にルーツがある子どもや家族に対するソーシャルワークと生活支援システム		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書・論文】 「グローバリゼーション時代における日本で生活する国際移住者に対する生活支援システムの構造 - セーフティネットとソーシャル・キャピタルの連動に着目して - 」『川崎医療福祉学会誌 Vol. 26, No. 2』2017年 「ソーシャルワーク教育における文化的コンピテンスと多様性」『川崎医療福祉学会誌 Vol. 22, No. 1』2012年 『事例で深めるソーシャルワーク実習』中央法規出版、2014年（共著）</p> <p>【研究課題】 グローバリゼーション時代におけるソーシャルワーク実践と教育 ソーシャルワーク実践及び教育における文化的コンピテンシー 外国にルーツがある人々へのソーシャルワークと支援システム</p>		

## ゼミナール概要

キーワード：ソーシャルワーク、人間の多様性、グローバリゼーション、国際化

<目標>

ゼミ活動を通して、主に以下の目標を達成できるよう取り組んでいきます

- 社会人および専門職に求められる「対話力」「考え抜く力」「前に踏み出す力」「チームで働く力」を身につける。
- 自分と仲間の可能性や力に気づき、それをお互いに刺激し合いながら伸ばし、広げる。
- グローバル社会・国際化社会において役割を果たすことができる人材にソーシャルワーカー。
- 社会をシステムとしてとらえる視点や力を身につける。
- ソーシャルワークを実践的に学習し、経験したという実感と自信を持つ。

<内容>

現在、ニーズの多様化・複雑化に伴って対応が困難となるケースや多様な分野との連携が必要な課題が顕在化してきており、より一層、人と社会・環境との関係性に着目した研究と実践が必要になっています。人と環境との関係性の中で生じた社会的排除の問題は様々な要因が絡み合っているため、システムとして理解やマイクロ・メゾ・マクロレベルにおいて物事を捉える力が求められます。したがって、ゼミを通じて、講義科目と演習実習科目を連動させ、知識を実際に活用し、問題解決につながるプロセスを経験できるような教育プログラムを展開します。

また、私の主要研究テーマは多文化ソーシャルワークですが、この考え方は一領域や分野に限定されるものではありません。ソーシャルワーカーが対象とする人や社会を理解し、適切に対応していくうえで共通基盤となる価値基準、知識、技術といえます。グローバリゼーションや国際化（内なる国際化と外なる国際化）の考え方を学び、これからの社会や人々の変化に対応可能なソーシャルワーカーを目指して様々なゼミ活動を行っていきます。

<方法と授業計画>

3年生前期：学生によるレポートやプレゼンテーション、フィールドワーク

3年次後期：卒論テーマの選定、卒論の書き方、テーマに関する個別発表またはグループ発表、海外スタディツアー

4年次：卒論指導（①文献調査・研究・発表、②事例研究、③グループ作成）

※研究方法や論文作成の基本を学習したうえで、海外スタディツアーでのフィールドワークを踏まえて論文を作成します。

## 担当教員からのメッセージ



- はじめまして。よろしくお願いたします。皆さんの可能性や力を信じ、協力をしながら成長していける機会や場となるようにしたいと思います。
- 私は、これまで、社会福祉協議会、大学、厚生労働省、教育団体においてソーシャルワーカーという自覚をもって実践してきました。また、社会的な活動としては、人身取引やDV被害を受けた外国籍女性や子どもを支援するNPOに関わっています。
- このような経験をふまえ、グローバル社会・国際化社会におけるソーシャルワークや活動を中心的なテーマとして、マイクロ・メゾ・マクロレベルといった幅広い視点から、国内・国外の社会福祉問題に取り組んでいきたいと思っています。具体的なプログラムとして、海外でのスタディツアーを予定しています。
- 大学での経験は、人生を歩んでいくうえで重要になると思います。皆さんが自分の力に気づき、それを発揮できるような学習・教育プログラムを提供することが、卒業後の可能性や選択肢を広げることになるのではないかと考えています。ゼミでは、卒業時に「視野や世界が広がった」「ソーシャルワークを学んだ」と自分なりに語るができるよう尽力したいと思いますので、積極的に参加することを期待します。